

庄原実業高校「環境工学科」へ森林環境教育を行いました

令和2年7月20日

広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、昨年度から広島県立庄原実業高校「環境工学科」で林業を学ぶ生徒を対象に、継続した森林環境教育に取り組んでいます。2年目となる今年度からは、全学年を対象に森林環境教育を行うこととし、更に広島県森林組合連合会と連携して、より充実した森林環境教育を提供していくこととしました。

7月15日には、2年生11名を前に「令和元年度森林及び林業の動向(白書)」について詳細に説明しました。生徒からは「森林経営管理制度について、初めて知りました。市町村が、今まで以上に積極的に林業施策に関与していくことに興味を持ちました。」との感想が聞かれました。



3年生への森林環境教育の様子(R2.7.15)

■令和2年度の森林環境教育カリキュラム(庄原実業高校)

区分	1学期	2学期	3学期
1年次	—	森林のもつ多面的機能 森林施業	事業地見学
2年次	森林のもつ多面的機能 森林施業	森林・林業・木材産業の現状 新たな木材利用	国有林野事業の概要 森林組合事業の概要
3年次	「森林・林業白書」の解説	事業地見学	2年間のまとめ

7月17日には、2年生25名に対し「森林の持つ多面的機能」と「森林施業」の学校で学ぶ専門教科を補完する分野について、詳細に説明しました。生徒からは「今後の勉強に活かしていきたいと思います。」との感想が聞かれました。

また、3年生の森林環境教育では、広島県森林組合連合会が昨年11月から取り組んでいる無料職業紹介事業について説明を行い、森林組合をはじめとする林業事業者への就職について、具体的な事例を挙げながら紹介しました。3年生の生徒の中には、林業分野への就職を考えている生徒もいることから、効果的な情報提供となりました。



2年生への森林環境教育の様子(R2.7.17)

広島北部森林管理署では、森林環境教育を通じた民有林の人材育成に引き続き積極的に取り組んでいきます。